

### 3.3 その他の都市計画対象道路事業に係る事項

#### 3.3.1 都市計画対象道路事業の経緯

中九州横断道路は、大分市と熊本市を結ぶとともに東九州自動車道に接続し広域的な道路ネットワークを形成する重要な路線であり、自治体の各種計画でも産業・観光・防災等における機能強化を図る重要な路線であると位置付けられています。また、大分県の「九州の東の玄関口としての拠点化戦略」では、港と高規格道路をつなぐ「ハブ&スポーク」の重要性が謳われており、熊本方面との広域移動を支える重要な幹線道路と位置付けられています。

本事業の対象区間は、中九州横断道路の一部を構成し、起点側である東九州自動車道との接続区間である、大分県内のうち唯一の未事業化区間です。

中九州横断道路（大分～犬飼）の事業実施に関し、その実施過程の透明性について一層の向上を図ることを目的として、事業予定者（概略計画の検討を実施した主体）が令和3年度から計画段階評価の手続きを実施しており、「社会資本整備審議会 道路分科会 九州地方小委員会（以下、九州地方小委員会）」を3回実施しました。

第1回九州地方小委員会では、地域の現状と課題や将来像を踏まえ、政策目標（案）の設定や地域の意見聴取方法（案）を議論しました。

第2回九州地方小委員会では、地域から聴取した意見内容を踏まえ、5つの政策目標を設定し、これらの目標を達成するための対策案を検討しました。対策案の検討にあたっては、災害時に機能する信頼性の高いネットワークを構築するとともに、速達性・定時性・安全性・走行性の向上を図り、産業活動や生活利便性の向上、救急医療活動、観光振興の支援を目指すことを基本コンセプトとし、評価項目の設定、比較評価、地域の意見聴取方法（案）について議論しました。

第3回九州地方小委員会では、地域等の意見を踏まえ、総合的な観点から複数案の比較評価を行い、対応方針（案）について議論しました。

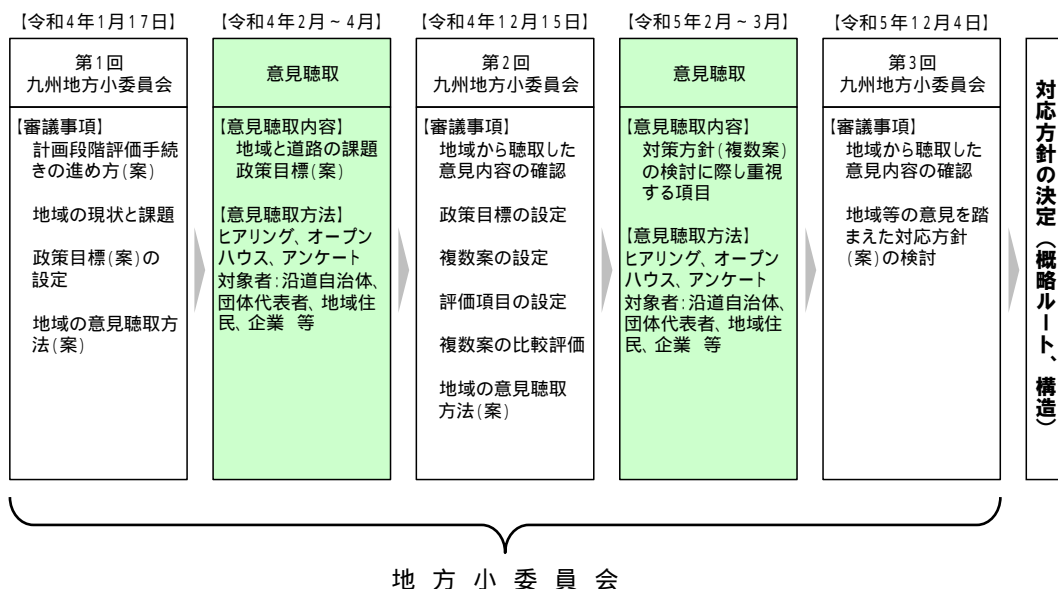


図 3.3-1 地方小委員会における審議経過

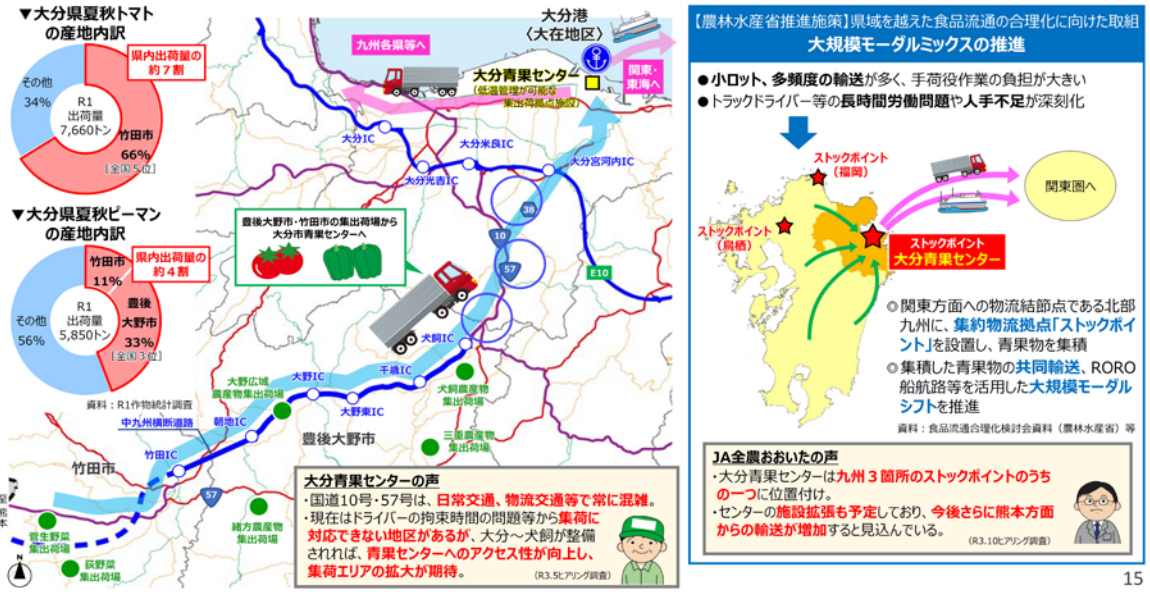
## 地域の現状と課題 < 産業・物流：製造業 >

- 大分港(大在地区)や沿道自治体には**製造・物流の拠点**が立地し、**新たな工業団地の造成**に向けた検討が進んでいる。
- 国道10号・57号が製造・物流拠点や港湾施設から熊本方面への物流を担うが、主要渋滞箇所を通過せざるを得ない状況であり、**速達性・定時性、アクセス性の向上**が課題。



## 地域の現状と課題 < 産業・物流：農産物 >

- 農林水産省等では、**農産物の共同輸送**や**航路を活用したモーダルミックス**を推進しており、**大分青果センター**は九州内の3つの**集約物流拠点**の中の1つに位置付け。今後さらに県内外からの農産物の集積が増加の見込み。
- 国道10号・57号は、県の戦略品目であるピーマン、トマトの主要産地である豊後大野市・竹田市や熊本方面からセンター、大在地区への輸送を担っており、今後の需要増加も見据え、**速達性・定時性、アクセス性の向上**が課題。



出典：第1回九州地方小委員会資料

図 3.3-2(1) 計画段階評価における地域の道路交通の現状と課題の整理状況

## 地域の現状と課題 < 防災 >

- 国道57号(中九州横断道路)は、南海トラフ地震時における熊本方面からの広域移動ルートに位置付け。
- 一方で、国道10号・57号は、大野川水系の洪水浸水想定区域内に位置し、路面冠水等による通行止めが発生。
- 安定的な物流活動の維持や災害時の救援・救助の支援のため、信頼性の高い道路ネットワークの構築が課題。

▼南海トラフ地震発生時における道路啓開計画「九州東進作戦」



▼浸水区域分布および通行止め発生状況



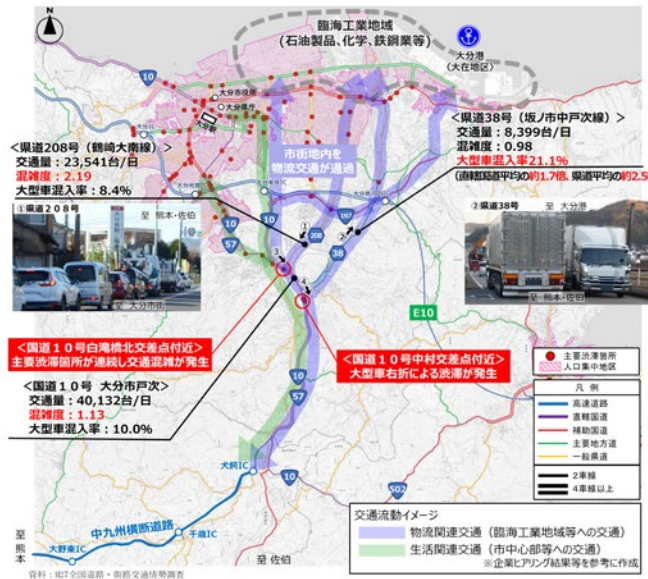
▼H29.9台風18号による冠水被害

**大分県の声**  
・甚大な被害が想定される南海トラフ地震等への備えとして、信頼性の高いネットワークの確保が必要 (R3.8)



## 地域の現状と課題 < 暮らし：交通流動・渋滞 >

- 大分市中心部・臨海部～豊肥方面を結ぶ幹線道路は国道10号・57号のみであり、当該区間では臨海工業地域へ向かう物流交通と市中心部へ向かう生活交通が混在。
- 国道10号中村交差点等では臨海工業地域等への物流交通に起因する渋滞が発生。
- 県道208号は慢性的な交通混雑が発生し、県道38号は大型車混入率が高い。



③ 国道10号白滝橋北交差点付近



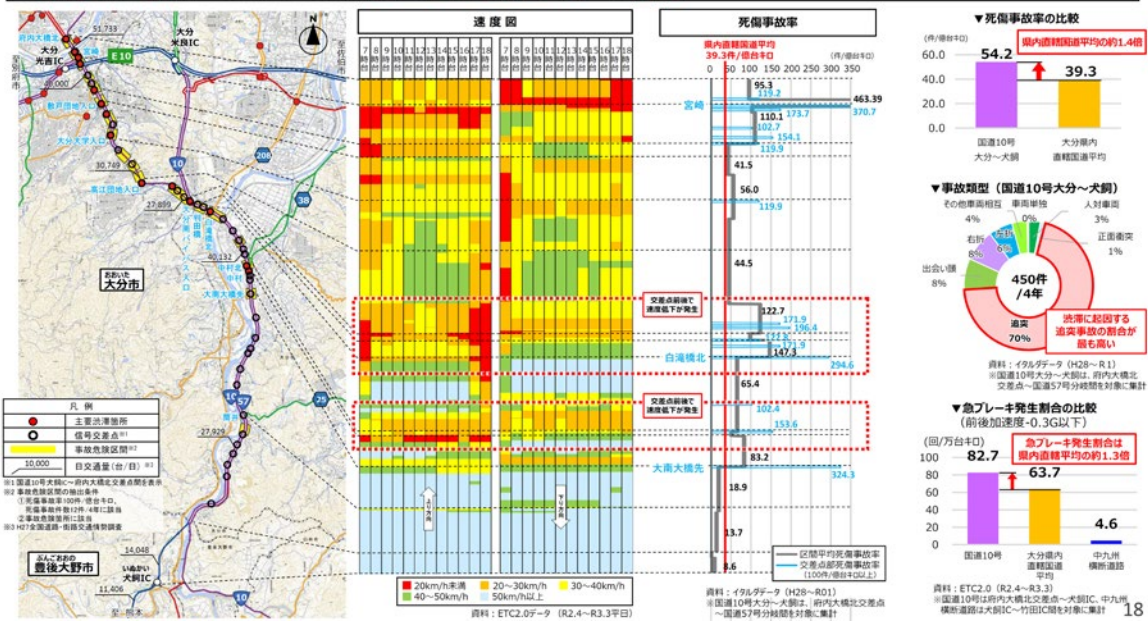
**地元道路利用者からの声**  
・大型車が多く、トラックとの接触による死亡事故も発生しており危険。(R2.8)  
・トラック事業者から物流効率化のため渋滞対策について声があがっている。(R2.10)

出典：第1回九州地方小委員会資料

図 3.3-2(2) 計画段階評価における地域の道路交通の現状と課題の整理状況

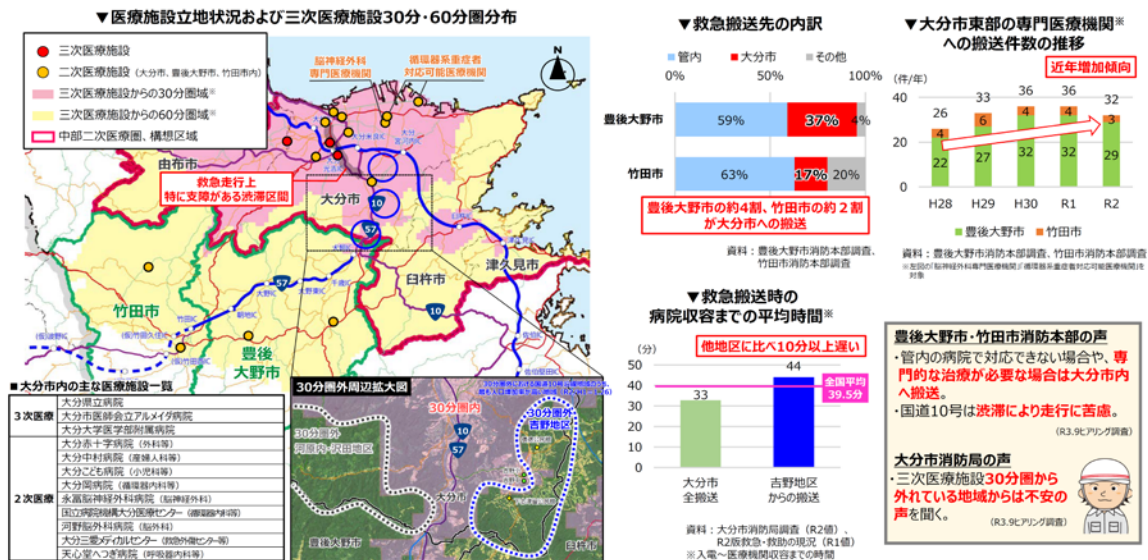
## 地域の現状と課題 <暮らし：渋滞・事故>

- 国道10号大分～犬飼間は交差点前後で20km/hを下回る速度低下が発生し、速達性・定時性の向上が課題。
- 国道10号大分～犬飼間の死傷事故率は県内直轄国道平均値の1.4倍と高く、渋滞に起因すると想定される追突事故が7割発生していることから、安全性や走行性の向上が課題。



## 地域の現状と課題 <暮らし：医療>

- 竹田市、豊後大野市では、医療機能を大分市に依存しており、管内の医療施設で対応困難な場合や、専門的な治療が必要な場合等は、大分市内の医療施設への搬送が必要。
- 大分市内の国道10号・57号の沿道の一部で三次医療施設の30分圏域外があり、地域からは不安の声がある。
- 渋滞区間の回避等による医療施設への速達性・走行性の向上が課題。

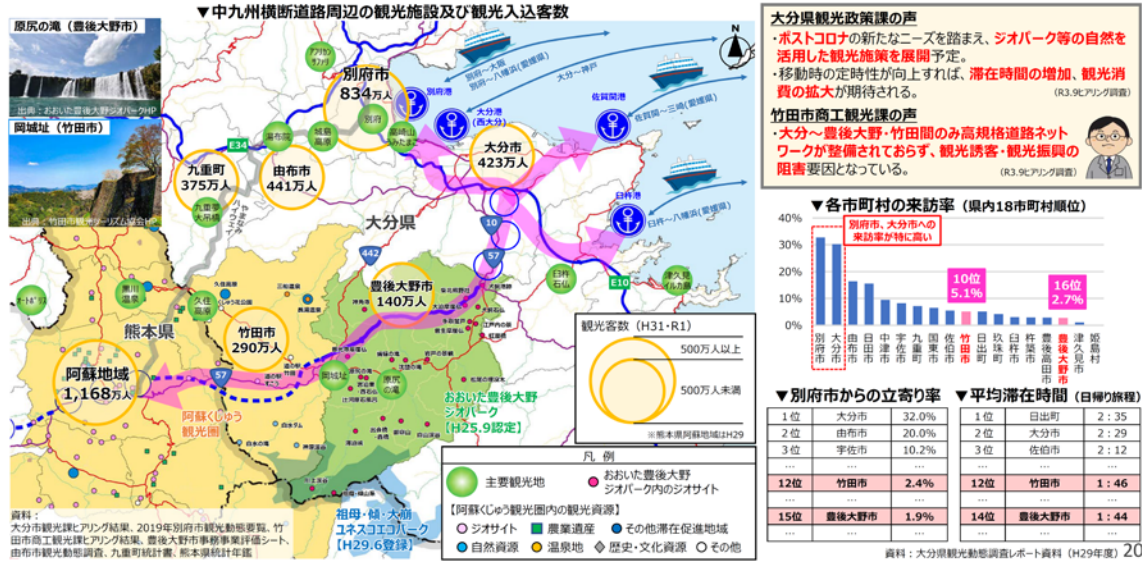


出典：第1回九州地方小委員会資料

図 3.3-2(3) 計画段階評価における地域の道路交通の現状と課題の整理状況

## 地域の現状と課題 < 観光 >

- 豊後大野市、竹田市の一部は平成29年度にユネスコエコパークに登録される等、**県内には多様な観光拠点、観光資源が立地**しており、これらを活かした観光誘客を推進。
- 竹田市、豊後大野市は**来訪率や他市からの立寄り率が県内でも低く、滞在時間も下位**に位置。
- 別府市・大分市からの回遊を促すための高規格道路ネットワークの未整備が観光阻害要因の一つであり、**広域的な観光を促す道路ネットワークの構築が課題**。



出典：第1回九州地方小委員会資料

図 3.3-2(4) 計画段階評価における地域の道路交通の現状と課題の整理状況

## 地域の課題（第1回地域の意見聴取結果）について

### 調査目的

公共事業の効率性及びその実施過程の一層の向上を図るため、オープンハウス・ヒアリング調査を実施しました。

第1回では、地域の課題を解決するにあたり設定した政策目標・留意事項の妥当性についてお伺いしました。

### 調査方法・調査期間・配布回収数

自治体・団体・企業へはヒアリングによるアンケート調査を、地域住民や広域的な道路利用者へはオープンハウス等によるアンケート調査を実施しました。

調査期間：令和4年2月24日（木）～令和4年4月30日（土）

対象	意見聴取方法	実施期間	対象の詳細	回収状況	
自治体	アンケート ヒアリング	令和4年2月25日（金） ～令和4年3月下旬	大分県、大分市、豊後大野市、竹田市	4自治体	
団体		令和4年3月中旬 ～令和4年4月30日（土）	バス協会、消防本部、農業協同組合、漁業協同組合、 警察署、観光協会、商工会議所 等	30団体	全174票
企業			沿道 自治体	製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、 宿泊・飲食サービス業、医療・福祉 等	
		熊本県	製造業、運輸・郵便業 等	12社	
地域住民 ・ 広域的な 道路利用者	アンケート	令和4年3月下旬 ～令和4年4月30日（土）	計 約7,300戸 大分市：約6,300戸、豊後大野市：約600戸、 竹田市：約400戸	3,511票 はがき3,278票 WEB233票	全4,443票
	オープン ハウス	令和4年4月12日（火） 令和4年4月15日（金） 令和4年4月17日（日） 令和4年4月19日（火） 令和4年4月22日（金）	計 5箇所 【平日（4箇所）】大分市役所、大分市役所大南支所、 豊後大野市役所、竹田市役所  【休日（1箇所）】パークプレイス大分	581票 （うちWEB ：47票）	
	留置き	令和4年2月25日（金） ～令和4年4月30日（土）	計 7箇所 道の駅あさじ、道の駅原尻の滝、道の駅おおの、道の 駅みえ、道の駅きよかわ、道の駅竹田、道の駅すごう	74票	
	HP・市報等	令和4年2月24日（木） ～令和4年4月30日（土）	大分河川国道事務所HP、自治体HP、市報 等	277票 （WEB）	

出典：第2回九州地方小委員会資料

図 3.3-3(1) 地域の課題（第1回地域の意見聴取結果）について

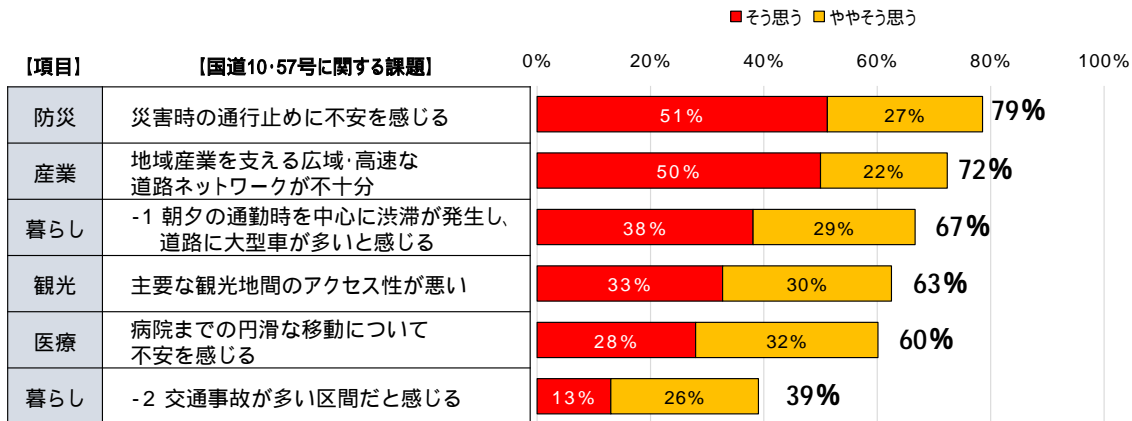
## 地域の課題（第1回地域の意見聴取結果）について

### 団体・企業（アンケート・ヒアリング）

・「-2.交通事故が多い区間だと感じる」を除く全ての項目について6割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。  
 ・特に「災害時の通行止めに不安を感じる」「地域産業を支える広域・高速な道路ネットワークが不十分」について課題意識が高く、7割以上の団体・企業が『そう思う』『ややそう思う』と回答。

【質問】国道10号・57号（大分市～豊後大野市間）に関する5つの課題（6項目）について、5段階のそれぞれ該当する箇所の一つだけを付けてください。【5段階評価】

【回答】団体・企業（アンケート・ヒアリング）：174票



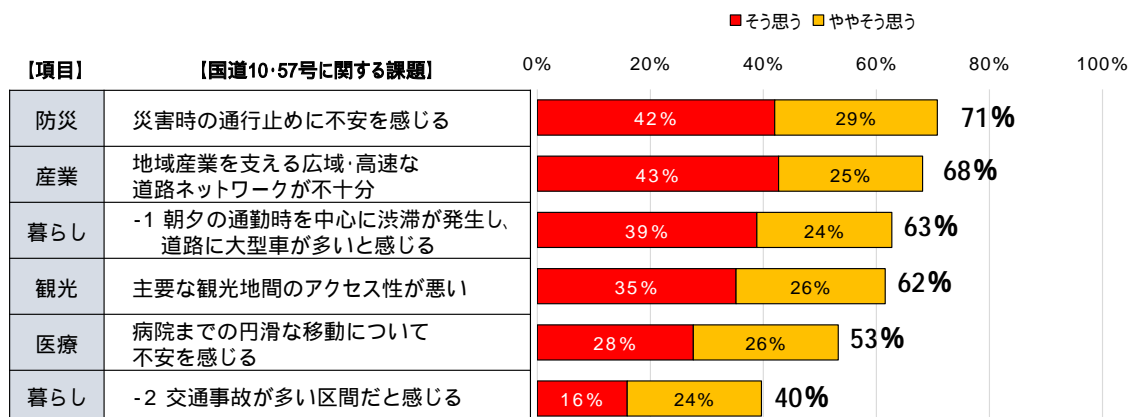
小数点以下の処理により合計値と合わない場合がある (N=174)

### 地域住民（住民アンケート・オープンハウス・留置き・その他）

・「-2.交通事故が多い区間だと感じる」を除く全ての項目について半数以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。  
 ・特に「災害時の通行止めに不安を感じる」「地域産業を支える広域・高速な道路ネットワークが不十分」について課題意識が高く、約7割が『そう思う』『ややそう思う』と回答。

【質問】国道10号・57号（大分市～豊後大野市間）に関する5つの課題（6項目）について、5段階のそれぞれ該当する箇所の一つだけを付けてください。【5段階評価】

【回答】地域住民（住民アンケート・オープンハウス・留置き・その他）：4,443票



小数点以下の処理により合計値と合わない場合がある (N=4,443)

出典：第2回九州地方小委員会資料

図 3.3-3(2) 地域の課題（第1回地域の意見聴取結果）について

## 地域の課題（第1回地域の意見聴取結果）について

### その他の課題・自由意見

- ・その他の課題については、「高速ネットワークの不足」、「道路構造への不満」、「歩行者・自転車利用空間の安全性」等の意見が寄せられた。
- ・自由意見については、早期整備や整備による期待の意見が寄せられる中で、ルート選定や中間IC設置に関する意見も寄せられた。

【質問】5つの課題以外で、あなたが問題だと思うことがあれば具体的にお書きください。（意見数 774件）

国道10号、57号は九州の東西を結ぶ重要な路線であり、産業、観光を振興させるには早急な整備が必要である。道路の起伏が激しく、登坂車線以外での渋滞もしばしば起こる。中九州横断道路と東九州自動車道が接続していないため、高速道路網が形成されていない。利便性が向上することで新規・継続居住が増えるといった過疎化への対策としても、高規格道路のネットワークは必要。国道57号はカーブが多いと思う。運転しづらい道路な気がする。歩道が狭い場所もあり、歩行者だけでなく自転車も危険だと感じる。

【質問】その他ご意見がありましたらお聞かせください。（意見数 776件）

大分（大在埠頭、佐賀関）と熊本、宮崎の物流を考えると道路整備は必要。大分市内から中九州道へのアクセス道路の一つである坂ノ市中戸次線は土砂災害による道路寸断が考えられることから、宮河内方面と接続することで応援、受援時における利便性が向上する。九州の道路ネットワーク整備の早期実現が重要。企業活動的には宮河内ICへつながり、大在（大分港）へ接続されたほうが佐賀関への利便性もよくなり、大分の発展的にはメリットが大きいと考える。大分～犬飼間はかなり距離があるので、利便性を高めるため、途中地点でもアクセスできるようにしてほしい。

：団体・企業ヒアリング ；住民アンケート・オープンハウス・留置き・その他

### 自治体

- ・県・沿線自治体からは、物流効率化、災害時の通行止め、観光地へのアクセス性に関する意見が寄せられた。

（主な意見）

自治体	主な意見
大分県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大分港大在地区では新たなRORO船ターミナルなどの物流拠点整備と併せ、ポートセールスによる企業誘致など「九州の東の玄関口の拠点化」を進めており、大分県版地方創生を加速するためには、ミッシングリンクである「大分～犬飼」を整備し、高速道路と一体となった広域道路ネットワークを早期に構築することが必要不可欠である。</li> <li>・国道10号・国道57号は広域防災拠点と熊本県を結ぶ重要な緊急輸送道路であるが、これまでも豪雨災害時に通行止めがたびたび発生するなど、救助・救援活動に支障が生じた。そのため、南海トラフ地震等の大規模災害時の救助・救援活動のためにも、災害に強いネットワークの形成が喫緊の課題である。</li> </ul>
大分市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高規格道路の整備されている他市場への出荷により、本市場の集荷力が低下し、市場機能の低下（集荷・価格形成・分荷）が懸念されるため、道路ネットワークの構築が必須である。</li> <li>・大分市臨海部から南部方面へと向かう主要路線が国道10号しかないため、昼夜を通して産業用の交通と生活用の交通が常に混同しており、混雑も見られ、災害時に通行止めとなった場合には迂回路の確保も難しいと考えられる。</li> <li>・産業用の大型トラック等の通行が多いため、重大な交通事故発生リスクが高く、安全性の向上が必要であると考ええる。</li> </ul>
豊後大野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道10号においては大分市上戸次の道路冠水が記憶に新しく、災害時には大分市方面からの物資の受入が出来なくなる、帰宅困難者が発生する等の懸念がある。国道57号においては大規模地震が発生した際、道路崩壊や土砂災害による通行止めが予想される。</li> <li>・市民が大分市内の医療機関への受診傾向が高いため、道路整備は必要と感じる。また、災害が発生しDMATが災害支援に出勤する際、道路冠水による通行止めにより活動に支障をきたす。</li> <li>・本市はジオパーク・エコパークといった自然を生かした観光資源に加え、サウナのまちとして観光振興に力を入れている。観光客は車で本市に来て頂く場合が多いが、大分市から規格の高い道路が繋がっていないことが観光客が増えない原因の一つであると考えている。</li> </ul>
竹田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南海トラフ発生時は沿岸部の道路は使えなくなると想定すると、エネルギー、物資の輸送の面で中九州横断道路は重要視されるべき。</li> <li>・令和3年10月に豊後大野市内の病院の産科が廃止され、豊肥地区には産科がなくなった。ほとんどが大分市内の病院へ行っている。産科に限らず病院へのアクセスがよくなると良い。</li> <li>・県外の観光客から「早く東九州道と接続すると便利で良いのだが」という声は多く聞く。また、四国からフェリーで大分へ～中九州横断道路を利用して熊本へという流れができるとかなり魅力的。</li> </ul>

出典：第2回九州地方小委員会資料

図 3.3-3(3) 地域の課題（第1回地域の意見聴取結果）について

## 重視すべき事項（第2回地域の意見聴取結果）について

意見聴取期間

令和5年2月2日(木)～令和5年3月31日(金)

意見聴取の実施状況

対象	意見聴取方法	実施期間	対象の詳細	回収状況	
自治体	アンケート ヒアリング	令和5年2月2日(木) ～令和5年3月中旬	大分県、大分市、豊後大野市、竹田市	4自治体	
団体		令和4年2月下旬 ～令和5年3月31日(金)	バス協会、消防本部、農業協同組合、漁業協同組合、 警察署、観光協会、商工会議所 等	29団体	全173票
企業			沿道 自治体	製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、 宿泊・飲食サービス業、医療・福祉 等	
	熊本県	製造業、運輸・郵便業 等	15社		
地域住民 ・ 広域的な 道路利用者	アンケート	令和5年2月下旬 ～令和5年3月31日(金)	計 約7,200戸 大分市：約6,400戸、豊後大野市：約500戸、 竹田市：約300戸	3,452票 はがき3,295票 WEB157票	全5,185票
	オープン ハウス	令和5年3月2日(木)、 3日(金)、5日(日)、 6日(月)、7日(火)	計 5箇所 【平日(4箇所)】大分市役所、大分市役所大南支所、 豊後大野市役所、竹田市役所 【休日(1箇所)】パークプレイス大分	602票 (うちWEB:18票)	
	留置き	令和5年2月2日(木) ～令和5年3月31日(金)	計11箇所 道の駅あさじ、道の駅原尻の滝、道の駅おおの、道の 駅みえ、道の駅きよかわ、道の駅竹田、道の駅すごう、 大分市役所、豊後大野市役所、竹田市役所、白杵市 役所	376票 (うちWEB:81票)	
	HP・市報等	令和5年2月2日(木) ～令和5年3月31日(金)	大分河川国道事務所HP、自治体HP、市報 等	755票 (WEB)	

沿道自治体：大分市、豊後大野市、竹田市

出典：第3回九州地方小委員会資料

図 3.3-4(1) 重視すべき事項（第2回地域の意見聴取結果）について

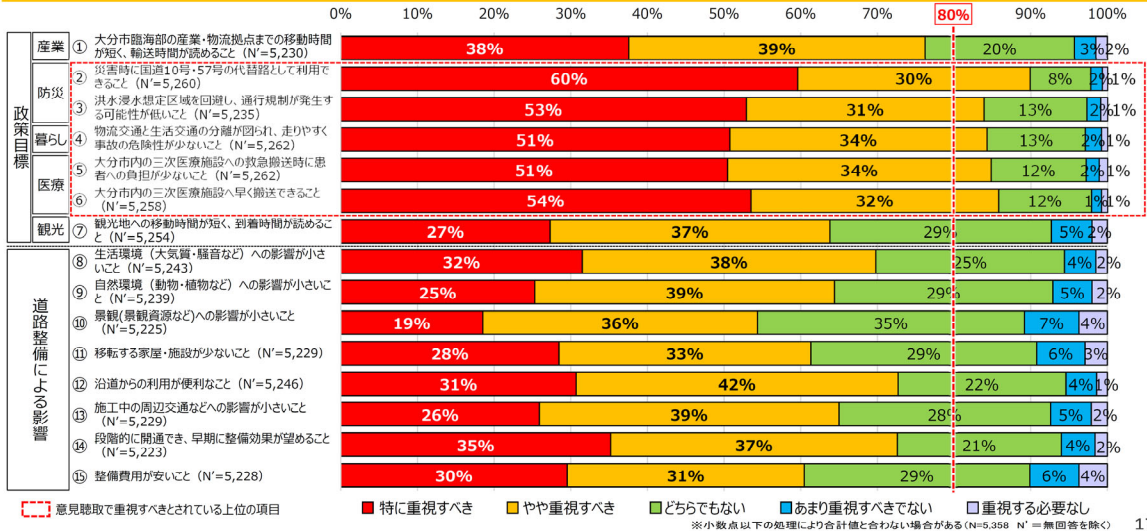
## 重視すべき事項（第2回地域の意見聴取結果）について

○政策目標については、全ての項目で重視すべきとの意見が6割以上であった。

その中でも、「②災害時に国道10号・57号の代替路として利用できること」「③洪水浸水想定区域を回避し、通行規制が発生する可能性が低いこと」「④物流交通と生活交通の分離が図られ、走りやすく事故の危険性が少ないこと」「⑤大分市内の三次医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと」「⑥大分市内の三次医療施設へ早く搬送できること」について、重視すべきとの意見が8割以上と特に多かった。

○道路整備による影響については、「⑩景観（景観資源など）への影響が小さいこと」以外の全項目で重視すべきとの意見が6割以上であった。

【質問】当該区間のルート帯等の検討に必要な「重視すべき事項（①～⑳）」について5段階で評価してください。



☐ 意見聴取で重視すべきとされている上位の項目

■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき ■ どちらでもない ■ あまり重視すべきでない ■ 重視する必要なし

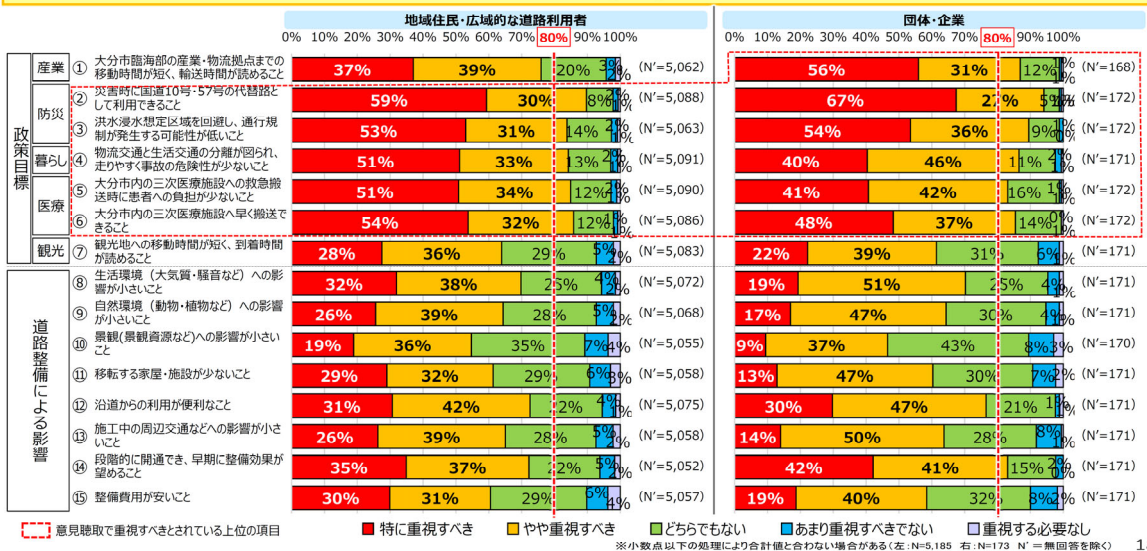
※小点数以下の処理により合計値と合わない場合がある (N=5,358 N'=無回答を除く)

17

○政策目標については、地域住民・広域的な道路利用者、団体・企業ともに全ての項目で重視すべきとの意見が6割以上であった。

地域住民・広域的な道路利用者、団体・企業ともに「②災害時に国道10号・57号の代替路として利用できること」「③洪水浸水想定区域を回避し、通行規制が発生する可能性が低いこと」「④物流交通と生活交通の分離が図られ、走りやすく事故の危険性が少ないこと」「⑤大分市内の三次医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと」「⑥大分市内の三次医療施設へ早く搬送できること」について、また、団体・企業のうち「①大分市臨海部の産業・物流拠点までの移動時間が短く、輸送時間が読めること」について、重視すべきとの意見が8割以上と特に多かった。

【質問】当該区間のルート帯等の検討に必要な「重視すべき事項（①～⑳）」について5段階で評価してください。



☐ 意見聴取で重視すべきとされている上位の項目

■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき ■ どちらでもない ■ あまり重視すべきでない ■ 重視する必要なし

※小点数以下の処理により合計値と合わない場合がある (左: N=5,185 右: N=173 N'=無回答を除く)

18

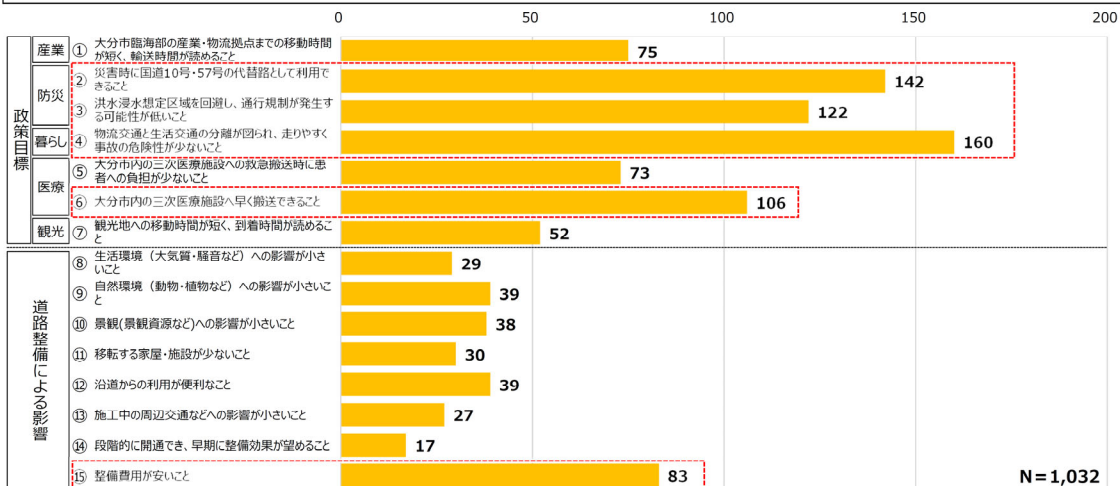
出典：第3回九州地方小委員会資料

図 3.3-4(2) 重視すべき事項（第2回地域の意見聴取結果）について

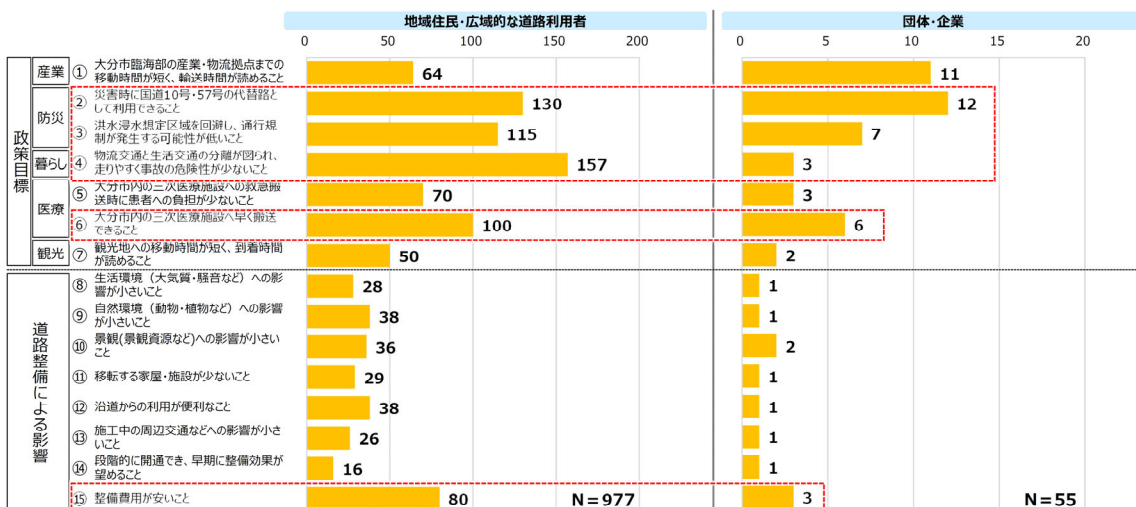
## 重視すべき事項（第2回地域の意見聴取結果）について

### ■重視すべき事項（ルート帯について）に関する自由意見

○重視すべき事項（ルート帯について）の自由意見としては、1,032意見が寄せられた。  
 ○政策目標については、「②災害時に国道10号・57号の代替路として利用できること」「③洪水浸水想定区域を回避し、通行規制が発生する可能性が低いこと」「④物流交通と生活交通の分離が図られ、走りやすく事故の危険性が少ないこと」「⑥大分市内の三次医療施設へ早く搬送できること」に関する意見が多かった。  
 ○道路整備による影響については、「⑮整備費用が安いこと」に関する意見が多かった。



### ■重視すべき事項（ルート帯について）に関する自由意見



出典：第3回九州地方小委員会資料

図 3.3-4(3) 重視すべき事項（第2回地域の意見聴取結果）について

## 重視すべき事項（第2回地域の意見聴取結果）について

### ■重視すべき事項（ルート帯について）に関する自由意見

□ 意見聴取で重視すべきとされている上位の項目

重視すべき事項		自由意見
産業	① 大分市臨海部の産業・物流拠点までの移動時間が短く、輸送時間が読めること	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本に半導体関連企業ができ、大分も九州の東の玄関口として整備を進めているところなので、物流面は最も重視すべき。(大分市/30代男性)</li> <li>中九州横断道路は、熊本から大分までの重要路線だと考えています。熊本には、大型のIT企業の立地が明らかになっており、大分にも既存のIT企業が集積していることから、このルートを通して、大分公共団体の物流拠点がさらに重要拠点となり、九州全体の経済活動を支えていくことが必要です。(大分市/60代男性)</li> <li>運送業の2024問題で、輸送時間を解決するためにも道路整備を迅速に行い、少しでも物流業者の負担を減らしてほしい。(大分市/30代男性)</li> <li>企業活動を継続させるため、安定した物流ルートの確保が重要。熊本方面に対して、有料高速を利用しなくて良いルート・選択肢ができれば、物流企業としては助かる。(大分市/運輸業)</li> </ul>
	② 災害時に国道10号・57号の代替路として利用できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>大地震や異常気象による災害に備え、代替路の確保を重視すべき。平時は物流や暮らしに配慮すべき。道路は1本でも多いに越したことはない。(大分市/60代男性)</li> <li>南海トラフ地震の発生が心配される中、被災時の避難、またそのあとの復興を早期に達成するためには、災害に強く、交通のリダンダンシーとなる高規格道路を整備する必要性を強く感じる。(大分市/60代男性)</li> <li>災害時の物資輸送のためにも複数の選択肢を持つことが重要だと思います。特に大分は地形上、代替道路が少ないのが弱点です。大きな災害が予想される昨今です。よろしく願います。(大分市/50代男性)</li> <li>選択する道路が、実質一つである。その他の道は、狭かつり、危険が伴うので、不便である。複数ルートの選択は、災害時の代替にもなり、安心につながる。(大分市/40代男性)</li> <li>大分～犬飼間の国道10号しかないため、災害時の代替路としての機能が最も重要と考える。(豊後大野市/団体)</li> <li>災害などの緊急時の搬送や物流においてスムーズに早急に対応してほしいと考えるため、いつ起こるかわからない事態に十分な備えを。(豊後大野市/団体)</li> </ul>
防災	③ 洪水浸水想定区域を回避し、通行規制が発生する可能性が低いこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>大野川流域であるので、洪水や流水を回避することが大事。(大分市/60代女性)</li> <li>大野川の川底を綺麗したり堤防を強したり、大雨に対していい準備をしてくれているものの、最近の雨は思いがけないほど強く、人間の想定をはるかに超えてくることが多いです。なので、方が、心算しても安全で安心して通行できる道路を造ってください。(大分市/30代男性)</li> <li>近年の集中豪雨を考慮すれば、浸水リスクが低い、かつ土砂災害に強いルートを選んでもいいか。(大分市/30代男性)</li> <li>戸次地区は、特に洪水等発生する可能性が大きいため、通行止めがでないようにするべき。(大分市/70代以上男性)</li> <li>災害に強いルートを作ってほしい。戸次付近は大雨による冠水被害のイメージがある。(大分市/運輸業)</li> <li>災害発生時の交通規制により配送困難事業が多数発生し、物を届けられないこと及び届けられなかった荷物が滞り、その後の復旧に時間がかかることが問題であるため、災害について強く配慮してほしいと思います。(大分市/運輸業)</li> </ul>
	④ 物流交通と生活交通の分離が図られ、走りやすく事故の危険性が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>大分～犬飼間の高速がつかげれば下道の渋滞緩和にもつながり、交通量も減るので早急に対応してほしい。(大分市/30代女性)</li> <li>中村交差点では大型車による渋滞が発生しており、県道も狭いので危ない。地域住民としては、大型車を分離できるようにルートを整備してほしい。(豊後大野市/70代以上女性)</li> <li>現場を運転している、トラックにおられることがあるので、分離できるとありがたい。(竹田市/60代女性)</li> <li>時間がかかるとの節約のため、短時間で走行できるルートを選んでほしい。(大分市/60代男性)</li> <li>生活交通と物流交通が混在しているので、早朝、夕刻など通行量が増える時間帯は目的地への到着予定時刻が読めないことが問題。2つの交通を分離させ、物流輸送時間を短縮することが求められる。(大分市/卸売・小売業)</li> </ul>
暮らし	⑤ 大分市内の三次医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の多い地域なので、救急対応に特に重視すべきと思う。早期着工を求める。(大分市/50代女性)</li> <li>命に関わることなので重視すべき。(大分市/60代女性)</li> <li>カーブや信号は患者の負担になるため、できるだけまっすぐな道がいい。(竹田市/60代男性)</li> <li>信号や交差点を回避できれば、加減速や追い越し時の急激なハンドル操作がなく、安定した走行が可能となる。また、患者の容体への影響を軽減でき、搬送中の事故や隊員の負担も解消できる。(豊後大野市/団体)</li> </ul>
	⑥ 大分市内の三次医療施設へ早く搬送できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急搬送がスムーズに行えることが重要と考えます。アルメイダ病院や大分県立病院へのアクセスしやすいルートを確保する必要があると思います。(大分市/60代女性)</li> <li>三次医療施設へ早く搬送できることで地域で暮らす人の安心につながると思う。(大分市/50代男性)</li> <li>命にかかわるので1分1秒でも早い方がいい。(大分市/70代女性)</li> <li>医療面を重視したルートを考えてほしい。(大分市/60代女性)</li> <li>大きな病院は大分市の病院に行くので、早いけることが大事。(豊後大野市/70代以上女性)</li> <li>救急搬送が円滑に行われることにより、救急でできる命があるのだからぜひそれを最優先すべきであると考えます。(別府市/20代女性)</li> <li>大分市内への三次医療施設への救急搬送が少しでも早くできることが患者さんの命を救うこととなるため。(大分市/専門・技術サービス業)</li> </ul>
観光	⑦ 観光地への移動時間が短く、到着時間が読めること	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地へスムーズに行けることが重要です。(大分市/70代以上女性)</li> <li>観光地への移動時間が短くほしいです。特に新幹線がないので。(大分市/30代女性)</li> <li>観光地へのアクセスが大分市内へのアクセス向上。熊本と大分をつなぐ道路の早期完成を望む。(熊本県大津町/30代男性)</li> <li>観光面での経済効果は特に重視すべき。(大分市/製造業)</li> </ul>

### ■重視すべき事項（ルート帯について）に関する自由意見

重視すべき事項		自由意見
道路整備による影響	⑧ 生活環境(大気質・騒音など)への影響が小さいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の集落には騒音が少ないように配慮してほしい。(大分市/60代女性)</li> <li>なるべく人家の少ないところを迂回し、付近の住民に騒音の被害が出ないようにしてほしい。(大分市/60代男性)</li> <li>沿線で、車の振動をひどく感じる事が無いようにするべきだ。(臼杵市/20代女性)</li> </ul>
	⑨ 自然環境(動物・植物など)への影響が小さいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>人目線で道路を作っていますが、そこに住む野生動物のことも考えた上で、ロードキル問題を少なくしてもらいたい。人間だけの道ではない。(豊後大野市/40代女性)</li> <li>利便性が向上するのはよいことだが、自然環境に十分配慮してほしい。(大分市/70代以上女性)</li> <li>自然環境への影響を極力抑えた計画にするべき。(臼杵市/40代男性)</li> </ul>
	⑩ 景観(景観資源など)への影響が小さいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然豊かな所も素敵な場所だからこそ魅力だ思う。便利さももちろん大切だが、自然保護景観も大切に欲しい。(大分市/50代女性)</li> <li>山側の景観は大事にしてほしい。(竹田市/60代男性)</li> <li>環境や景観資源などの配慮は重要であると考えます。(臼杵市/40代女性)</li> </ul>
	⑪ 移転する家屋・施設が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期完成を考えれば、移転補償が少ない方がいいと思います。(臼杵市/50代男性)</li> <li>整備費が抑えられても、移転補償費が増大することも懸念されるので、極力移転が生じないルートが望ましいと考える。(大分市/30代男性)</li> <li>宮内内～犬飼まで、できるだけ人家の立ち退き等を避けて用地問題を少なくし、早く開通してほしい。(大分市/70代以上男性)</li> </ul>
	⑫ 沿道からの利用が便利なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺自治体からの沿道アクセスを考慮したルート帯やインターチェンジの位置決定をお願いします。(大分市/30代男性)</li> <li>幹線道路や乗り降りすべきところ、乗り降りできると便利だと感じられるようにしてほしい。(竹田市/40代男性)</li> <li>沿道からの出入りが自由にできた方がいい。(竹田市/70代以上男性)</li> </ul>
	⑬ 施工中の周辺交通などへの影響が小さいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事中の規制によって周辺道路が混雑すると困る。(大分市/50代女性)</li> <li>施工中も既存の国道10号を今と同じように使い続けられるようにしてほしい。(豊後大野市/60代男性)</li> <li>開通後に便利になることを考えれば工事の影響は多少は仕方ない。(竹田市/60代女性)</li> </ul>
	⑭ 段階的に開通でき、早期に整備効果が望めること	<ul style="list-style-type: none"> <li>部分的にでも開通して早く利用できるほうが利用者にとってはうれしい。(大分市/20代男性)</li> <li>小さい効果が少しずつも、ある程度効果が出る区間で開通する方がよい。(竹田市/30代女性)</li> <li>段階的でもいいので、早く開通して欲しい。生きている間にも整備して欲しい。(竹田市/60代男性)</li> </ul>
	⑮ 整備費用が安いこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>税金はなるべく安く使ってほしい。(大分市/30代男性)</li> <li>効果を確保したうえでなるべく安いものがない。(大分市/60代女性)</li> <li>建設後の維持、管理費の負担を少なくするよう計画をお願いします。(大分市/50代男性)</li> </ul>

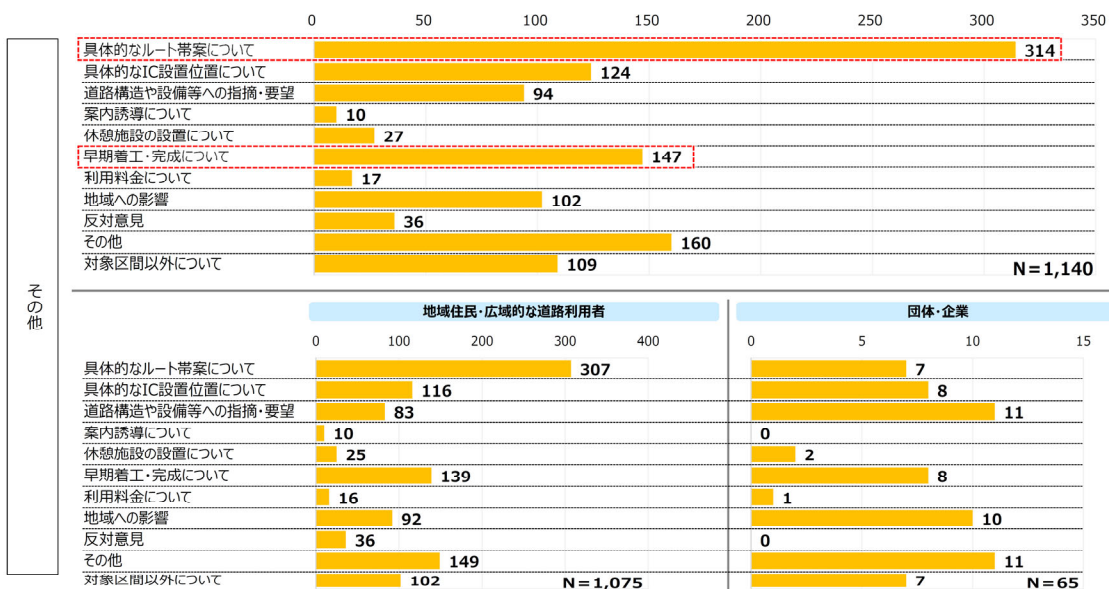
出典：第3回九州地方小委員会資料

図 3.3-4(4) 重視すべき事項（第2回地域の意見聴取結果）について

## 重視すべき事項（第2回地域の意見聴取結果）について

### ■重視すべき事項以外の自由意見

○重視すべき事項以外の自由意見としては、1,140意見が寄せられ、「具体的なルート帯案について」「早期着工・完成について」に関する意見が多かった。



### ■重視すべき事項以外の自由意見

その他	自由意見
具体的なルート帯案について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルート帯については既存の住宅、施設等に支障の少ない条件をクリアすべく保障費に予算をかけない工夫が必要。案①(山側ルート)を推すのが自然環境保全には最大限工夫してほしい。早期実現には案①(山側ルート)がベスト。(大分市/60代男性)</li> <li>・洪水浸水想定区域を回避し、災害時に安全走行できる案①(山側ルート)が良いと思います。(大分市/50代女性)</li> <li>・案②(平地ルート)を希望する。一般道よりアクセスしやすい。(大分市/60代女性)</li> <li>・案③を希望します。費用が安いことが最重要。案①②は完成時期が遅くなるためNG。(大分市/70代男性)</li> </ul>
具体的なIC設置位置について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中判田の国道10号及び10号バイパスへのアクセスができるようインターの設置をお願いしたい。(竹田市/60代男性)</li> <li>・吉野に住んでいるので、インターチェンジが近くできると嬉しいです。(大分市/20代男性)</li> <li>・犬飼～宮内内の中間地点である戸次地区にインターチェンジがあると利便性が高い。(大分市/60代男性)</li> <li>・物流面でF18、八幡浜利用者が便利にように、F18に近いところにインターチェンジを作っていただきたい。(臼杵市/60代男性)</li> </ul>
道路構造や設備等への指摘・要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路幅員は広めで片側一車線通行はやめてほしい。最低でも二車線通行として追い越し車線を作るべき。(大分市/50代女性)</li> <li>・渋滞をさけるために必ず2車線が必要かつ重要。インターチェンジは合流しやすく施工すべし。年配者などが判別しやすく、変則的なつくりは避けるべき。(大分市/40代男性)</li> <li>・できるだけカーブが少なく、短時間で移動できること。登坂車線を数か所設けてほしい。(豊後大野市/60代男性)</li> </ul>
案内誘導について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターチェンジ周辺の状況が分かりやすく乗り降りに不安がないこと。(大分市/20代男性)</li> <li>・観光地への分かりやすい案内。(大分市/50代女性)</li> <li>・使用頻度が低いので、わかりやすくお願いします。(大分市/30代女性)</li> </ul>
休憩施設の設置について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅を増やしてほしいです。(大分市/50代女性)</li> <li>・サービスエリアを1～2か所作っていただきたい。(豊後大野市/70代以上女性)</li> <li>・途中に休憩施設がないと不便なので、道路を作るときはそこも考慮してほしい。(大分市/70代以上女性)</li> </ul>
早期着工・完成について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本まで早く着工完成してほしい。(豊後大野市/70代以上男性)</li> <li>・防災、医療、暮らしの面で早期に必要だと思います。全面開通してほしい。(大分市/50代女性)</li> <li>・何事もスムーズに円滑にできるように、早めの完成を願っています。(大分市/70代以上女性)</li> <li>・現状、戸次～犬飼間は高速で走行する車が多く危険のため早期着工を希望します。(竹田市/50代女性)</li> </ul>
利用料金について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までどおり無料で通行できるなら利用するが、料金がかかるなら結局他の道で渋滞してしまうと思う。(大分市/50代女性)</li> <li>・高速利用料金が安いことが利用者にとって一番重要なこと。(大分市/40代男性)</li> <li>・現在開通している区間は地元民の生活道路として定着しているため、全線開通になったら料金は料金等どうなるのかはきりきりさせない。できたら今のまま生活道路として料金がからず利用したい。(豊後大野市/30代女性)</li> </ul>
地域への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹田市は企業がないことが問題になっている。企業誘致に役立つ道路になってほしい。(竹田市/30代男性)</li> <li>・別ルートだと既存地域の過疎化が進む心配あり。(大分市/70代以上男性)</li> <li>・中九州横断道路周辺にお店が少ないので、地域活性化や少子高齢化防止の観点から、特産品や郷土料理などのお店があれば良いと思う。(大分市/30代女性)</li> </ul>
反対意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状あまり混雑を感じることもないので、自然保護、予算の有効利用を重視すべきと思う。(大分市/40代男性)</li> <li>・豊かな自然を壊して、高速道路を建設するのは反対です。田舎の静かな暮らしを破壊しないで欲しい。動植物への影響を軽視しないで欲しい。(大分市/60代女性)</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に、近隣地区住民の意見や要望を反映しながら推進していただきたい。(大分市/70代以上男性)</li> <li>・産業、物流の安定輸送も大切ですが、交通弱者、歩行者や自転車の通行に十分配慮した道路づくりが大切だと思います。(大分市/60代男性)</li> <li>・地域高規格道路の効果や必要性は理解できるが、整備後の維持管理体制も計画段階で考慮すべき。(大分中津市/60代男性)</li> </ul>
対象区間以外について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速を作るなら最低2車線にしてほしい。新しい道より既存の高速を先に2車線にしてほしい。(大分市/20代男性)</li> <li>・熊本県への時間短縮を期待しています。熊本県側の中九州横断道路の開通にもっと関心をもってもらいたい。(大分市/50代男性)</li> <li>・国道10号、大分市大学前から中判田まで2車線工事を早急に対応する方がいい。(大分市/60代女性)</li> </ul>

出典：第3回九州地方小委員会資料

図 3.3-4(5) 重視すべき事項（第2回地域の意見聴取結果）について



## 重視すべき事項（第2回地域の意見聴取結果）について

### 自治体への意見聴取結果

#### ■豊後大野市

		重視すべき事項	意見
政策目標	産業	① 大分市臨海部の産業・物流拠点までの移動時間が短く、輸送時間が読めること	・豊後大野市における企業誘致には必須であり、既存の製造業や流通業においても輸送時間の短縮や輸送コスト削減は重要である。
		② 災害時に国道10号・57号の代替路として利用できること	・地域産業の振興・発展に欠かせない物流拠点へのアクセス及び移動短縮が図られる道路整備を望む。
		③ 洪水浸水想定区域を回避し、通行規制が発生する可能性が低いこと	・県都である大分市から救助や支援のルートを確認することが豊後大野市にとって重要と考える。 ・冠水による通行規制を軽減しており、交通量の多い国道10号・57号線の代替道路としての別線整備が望ましい。
	暮らし	④ 物流交通と生活交通の分離が図られ、走りやすく事故の危険性が少ないこと	・冠水による通行規制を軽減しているため、洪水浸水想定区域内ルートは避け、安全・安心して利用できる道路整備が必要。また、近年の異常降雨等による斜面崩壊対策を行うことが望ましい。現在の緊急輸送道路は洪水想定区域を通過するため案①での整備が望ましい。
		⑤ 大分市内の三次医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと	・日常生活交通と物流交通の区別化が図られれば渋滞緩和に繋がり、安全性・走行性の向上が期待できる。 ・すべてを分離すると利便性の向上にならないため、生活道路からの乗り入れにも配慮する必要がある。
	医療	⑥ 大分市内の三次医療施設へ早く搬送できること	・生活交通との切り離しにより、救急搬送車両の加減速、速度変化が少なくなることと期待。
		⑦ 観光地への移動時間が短く、到着時間が読めること	・交差点の少ないルート計画とし、到達時間の短縮を図ることが望ましい。 ・速達性の向上により、三次医療施設の到達エリア拡大を期待。
	道路整備による影響	⑧ 生活環境(大気質・騒音など)への影響が小さいこと	・県外からの本市へ観光客呼び込むため、東九州自動車道とのアクセスが重要となる。東九州自動車道からなるべく短時間で到着できるようにすべき。
		⑨ 自然環境(動物・植物など)への影響が小さいこと	・地域住民への騒音・振動等の影響が最小限となるように配慮すべき。
		⑩ 景観(景観資源など)への影響が小さいこと	・環境影響調査を行い、絶滅危惧種への悪影響を低減する対策を講じることが望ましい。森林伐採等も極力抑えることが望ましい。
		⑪ 移転する家屋・施設が少ないこと	・国・県・市町村の指定文化財を避けるルート計画とすることが望ましい。
		⑫ 沿道からの利用が便利なこと	・なるべく山間部を通過し、地域住民の日常を奪わないようにすべきである。
		⑬ 施工中の周辺交通などへの影響が小さいこと	・可能な限り地域住民の生活や経済活動に支障がないようルートを選択すべきである。
		⑭ 段階的に開通でき、早期に整備効果が望めること	・交通量の多い幹線道路であるため、通行止めを伴う整備計画は極力避けるべき。 ・沿道の渋滞回避等のためにも、工事が完了した区間（IC間）から段階的に供用開始することが望ましい。
		⑮ 整備費用が安いこと	・コスト削減も重要であるが、効果面を最重要視しない、せつかく公費を投入しても地域の発展に寄与しない。整備費用が安価なことに越したことはないが、本案件においてはコストよりも効果面・利便性を重視した方がよい。また、維持管理を考慮したライフサイクルコストも重視することが望ましい。
⑯ 周辺の産業・物流施設にアクセスしやすいこと		・地域の産業振興・発展に寄与できるよう、周辺の産業・物流施設からアクセスしやすい位置に計画することが望ましい。 ・物流における2024年問題もあり、周辺の産業・物流施設へのアクセス性は重要である。	
⑰ 集落に近接し、大分中心部や熊本方面へ早くかつ安全に移動できること		・地域集落住民の利便性向上のため、出来る限り集落に近接した位置に計画することが望ましい。	
位置等について	⑱ 観光資源・観光施設に近接して早く行けること	・地域集落住民の利便性向上のため、出来る限り集落に近接した位置に計画することが望ましい。	
	⑲ 観光資源・観光施設に近接して早く行けること	・インター位置から観光施設等へのアクセス道路整備への財政支援対策を講じる必要がある。	
	⑳ 災害時に安全かつ円滑にアクセスできること	・有事の物資輸送や避難道路等として支障をきたさない位置に計画することが望ましい。	
	その他のご意見	・大規模災害時の輸送道路の確保を重視するため、現在の緊急輸送道路の代替路線となり得る浸水想定区域を出来るだけ回避した案①での整備が望ましい。 ・ICまでのアクセスは、既存の生活道路の改良で対応すべき。	

### 自治体への意見聴取結果

#### ■竹田市

		重視すべき事項	意見
政策目標	産業	① 大分市臨海部の産業・物流拠点までの移動時間が短く、輸送時間が読めること	・卸売市場が大分市街地にあるため、大分市中心部への移動時間が短縮することが望ましい。
		② 災害時に国道10号・57号の代替路として利用できること	・熊本地震の際は、国道57号が物流の主要なルートとなっていた。今後の南海トラフ地震発生時等を考えても、沿岸部と熊本方面が高規格道路でつながっていることは重要である。
		③ 洪水浸水想定区域を回避し、通行規制が発生する可能性が低いこと	・災害時の応援の際には中九州横断道路が必要となることから、浸水想定区域を回避するルートが望ましい。 ・南海トラフ地震発生時の津波を想定した場合に、浸水想定区域を回避するルートが必要。
	暮らし	④ 物流交通と生活交通の分離が図られ、走りやすく事故の危険性が少ないこと	・国道10号から県道38号への狭い道を利用する大型車が多いため、物流交通と生活交通が分離できると良い。
		⑤ 大分市内の三次医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと	・救急搬送時にはカーブや路面の凹凸、信号が少ないほうが良い。
	医療	⑥ 大分市内の三次医療施設へ早く搬送できること	・救急搬送の面においては迂回するルートである時間的メリットがないので、大分市中心部の病院（アルメイダ病院、大分県立病院、大分三愛メディカルセンター等）まで少しでも時間短縮することを望む。
		⑦ 観光地への移動時間が短く、到着時間が読めること	・周遊ツアー等を組む際に時間が読めることは重要である。 ・高規格道路ルートと現道ルートの選択肢を設けて利用者が使い分けできると良い。
	道路整備による影響	⑧ 生活環境(大気質・騒音など)への影響が小さいこと	・道路整備による影響が小さいことも重要であるが、産業面などで整備効果が現れることを重要視する。
		⑨ 自然環境(動物・植物など)への影響が小さいこと	・竹田方面では本線に猪が出没する事例もあり、山を切り崩した場合の動物への影響が懸念される。 ・道路整備による影響が小さいことも重要であるが、産業面などで整備効果が現れることを重要視する。
		⑩ 景観(景観資源など)への影響が小さいこと	・道路整備による影響が小さいことも重要であるが、産業面などで整備効果が現れることを重要視する。
		⑪ 移転する家屋・施設が少ないこと	・道路整備による影響が小さいことも重要であるが、産業面などで整備効果が現れることを重要視する。
		⑫ 沿道からの利用が便利なこと	・道路整備による影響が小さいことも重要であるが、産業面などで整備効果が現れることを重要視する。
		⑬ 施工中の周辺交通などへの影響が小さいこと	・道路整備による影響が小さいことも重要であるが、産業面などで整備効果が現れることを重要視する。
		⑭ 段階的に開通でき、早期に整備効果が望めること	・段階的に早期に開通することも重要であるが、産業面などで整備効果が現れることを重要視する。
		⑮ 整備費用が安いこと	・整備費用よりは効果を重視する。 ・整備費用は重視するが、山側ルートであれば移転等にかかる費用も少なく済むため大きな影響はないと考える。
⑯ 周辺の産業・物流施設にアクセスしやすいこと		・特になし。	
位置等について		⑰ 集落に近接し、大分中心部や熊本方面へ早くかつ安全に移動できること	・買い物に行き際、大分市中心部へのアクセスを考えると、中間ICには戸次川周辺に設置し、本線から現道の国道10号や国道57号へアクセスしやすいことが望ましい。
	⑱ 観光資源・観光施設に近接して早く行けること	・竹田市内には産婦人科がないため、そういった専門の医療機関へのアクセスが良くなるのが重要と考える。	
	⑲ 観光資源・観光施設に近接して早く行けること	・特になし。	
	⑳ 災害時に安全かつ円滑にアクセスできること	・災害支援について、山側の市町村と海側の市町村で連携しており、竹田方面から臼杵・佐伯・津久見方面への支援の際には安全かつ円滑にアクセスできることが望ましい。	
その他のご意見		・大学や高校などが立地するエリアでもあるため、通学を考慮した視点も追加してはどうか。 ・大分市中心部までのアクセスを考えると、宮内IC～米良IC間が有料となるため利用促進が図れないと考える。宮内IC～米良IC間を無料にしてほしい。	

出典：第3回九州地方小委員会資料

図 3.3-4(7) 重視すべき事項（第2回地域の意見聴取結果）について